

平成29年度 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設
のぞみの園運営懇談会(第20回)議事概要

平成29年10月12日(木)
13:30~15:30
管理棟2階会議室

1 開 会

2 理事長あいさつ

3 議 事

- (1) 独立行政法人評価に関する有識者会議について
 - ・平成28事業年度における業務実績に関する評価結果について
 - ・第3期中期目標期間見込評価について
- (2) 入所利用者への健診事業の拡充について
- (3) 児童発達支援センター「れいんぼ〜」について
- (4) 地域支援関連事業について
 - ・生活支援事業「さんぼみち」の廃止及び多機能型事業所「くるん」の開設
- (5) 就労支援事業について
 - ・しいたけ、酒まんじゅう販売状況等について
- (6) 第15回のぞみふれあいフェスティバルの開催について

4 報告事項

- (1) 日本発達障害学会第52回研究大会について
- (2) マスコミ取材への協力について
- (3) 国立のぞみの園の在り方検討委員会について
- (4) ホームページのリニューアルについて
- (5) 診療所事業
 - ・地域の障害者を対象とした健診事業について
 - ・精神科ショートケア事業について

【議事に対する主な質疑(○:委員、●:のぞみの園)】

- (1) 独立行政法人評価に関する有識者会議について
 - ・平成28事業年度における業務実績に関する評価結果について
○取り組みとしては、地域移行だけでなく、ここ(のぞみの園)で人生を全うすることも、とても尊いことだと思う。
 - ・第3期中期目標期間見込評価について
○診療所は赤字かも知れないが、保護者としては、ほかの医療機関を使うということは考えられない。本来どうあるべきかは明確にしてほしい。
●利用者はなかなか自分で病状を訴えられない。だから日頃からの「見守り」が大事と考える。
●診療所について収支状況も着目しなければならないが、施設利用者の主治医として、福祉と医療が連携することにより高度な支援を行い、大切な役割を果たしている。
- (2) 入所利用者への健診事業の拡充について
 - 検診項目を増やして、その後のフィードバック、治療にどう活かすかが大事と思う。
 - 高齢化が進む中、「看取り」のシステムはどうなっているか。

●病状により保護者へ連絡するようにしている。「看取り」という意味では、最後は診療所に入院することになるが、長年生活してきた寮に近い環境を心がけている。

(3) 児童発達支援センター「れいんぼ〜」について
特になし。

(4) 地域支援関連事業について
・生活支援事業「さんぽみち」の廃止及び多機能型事業所「くるん」の開設
○事業所の廃止にあたっては、地域住民にも周知するようにしてほしい。

(5) 就労支援事業について
・しいたけ、酒まんじゅう販売状況等について
特になし。

(6) 第15回のぞみふれあいフェスティバルの開催について
特になし。